

HOT

コミュニケーション

フットパスを歩こう



景観セミナーで、まちの魅力を発見しようと秋の風景を楽しみながら「フットパス」を実施しました。

伊達山から北海道医療大学に至る7.8kmのコースで、ひっそりたたずむ沼や、石狩平野を見渡すビューポイントなど、変化に富んだ景色です。参加者30名は紅葉や、野生動物の糞などを発見するなど楽しみながら歩き通しました。

(10月23日)

防災予防コンクール



北海道の火災予防作文コンクールで、当別小学校4年生の谷詰ひより日陽さんが北海道教育委員会教育長賞を受賞し、当別消防署で伝達式が行われました。

コンクールには全道から436人の応募があり、石狩管内での入賞者は谷詰さん一人。入賞作品のタイトルは「当別町最大の火事」で、昭和26年におこった当別大火の話が題材になっています。

祖父の話や、インターネットなどで調べたことから、今後、火事にならないための心がけや消防士への感謝の気持ちをつづりました。

(10月25日)

みんなで創る町民文化



第62回当別町文化祭が西当別コミュニティセンターおよび、ふれあい倉庫で開催され、昨年より多い3,170人が来場しました。

菊花展をはじめ、生け花、手芸、書道、絵画などの展示部門で約450点が展示されたほか、合唱、器楽演奏、民謡、ダンスなどの発表部門も30団体が出演し、日頃の練習の成果を披露しました。

仲間とのサークル活動や趣味などで、お年寄りの方からの出展・発表も多数あり、お互いの作品や演技に刺激を受けると、真剣な様子で鑑賞していました。

(11月3～6日)

広 告

広 告

広 告

スウェーデンのスローライフを



当別町の姉妹都市があるスウェーデンのダーラナ地方の生活や伝統文化を紹介する講演会がスウェーデン交流センターで開催されました。

同交流センターの主催によるもので、レクサンド市在住の高等学校講師のマッツ・スヴェンソン氏が講師として来町しました。氏は日本の陶芸を深く研究され、生徒にも陶芸を指導しており、「スウェーデンの心のふるさと」ダーラナ地方の四季折々の美しい風景や、国民高等学校の様子が詳しく説明されました。

(11月12日)

コミュニティ農園が開園



障がいを持つ方と、高齢者などが農業経験を通して交流を深める共生型コミュニティ農園が太美にオープンしました。

運営するのはNPO法人ゆうゆうで、地元農家から指導を受けながら野菜を栽培し、その材料でこだわりのランチを提供するレストランも併設され、12月5日(月)から営業します。

愛称は公募により「ペコペコのはたけ」に決定。名前を考えた太美町に住む佐々木海人くん(西当小1)には1年分のドーナツ券が贈られました。

(11月20日)



広 告

広 告

広 告